

会議録

会議の名称	令和3年度 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和3年8月4日（水） 午後7時から午後8時
開催場所	田無庁舎502会議室
出席者	委員：（対面）廣瀬委員長、田中副委員長 （オンライン）青木委員、葛西委員、猪股委員、中野委員、濱崎委員、藤井委員、田邊委員 （欠席）中村委員 事務局：堀文化振興課長（途中退席）、文化振興課栗林課長補佐（兼文化振興係長）、文化振興課文化振興係山本主任、文化振興課文化振興係吉岡主事、文化振興課文化振興係太田主事
議題	1 「令和3年度施策・事業評価（令和2年度分）」調査結果 2 その他
会議資料の名称	【当日机上配布資料】 資料1 西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱 資料2 西東京市文化芸術振興委員会傍聴要領 資料3 西東京市文化芸術振興推進委員会名簿 資料4 西東京市第2期文化芸術振興計画「令和3年度施策・事業評価（令和2年度分）」調査表 資料5 重点項目の考え方
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【以下、廣瀬委員長にて議事進行】</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言期間中であることから、できる限りオンラインによる参加としたことを説明。 ・前任の島田委員の異動に伴い、猪股委員の就任を報告。 ・令和3年度の傍聴人の数を、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、3人までとすることで全会一致。 <p>2 【議題1】「令和3年度施策・事業評価（令和2年度分）」調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4「西東京市第2期文化芸術振興計画『令和3年度施策・事業評価（令和2年度分）』調査表」及び資料5「重点項目の考え方」を用いて、「令和3年度施策・事業評価（令和2年度分）調査結果について説明。 <p>（説明内容）</p>	

- ・第2期文化芸術振興計画に基づき、計画の2年目となる令和2年度分について各所管課が自己評価を実施。
- ・資料5「重点項目の考え方」について、課題の解決に向けた取組みの経過を確認するため、令和元年度と同項目とする。

○事務局：

- ・本日は、基本方針1に関する施策に関することを議論していただきたい。
- ・基本方針1「参加のきっかけづくり」について説明。

【以下、田中副委員長にて議事進行】

○委員：

- ・委員会の所掌事項は、西東京市第2期文化芸術振興計画の施策の推進等に関して協議及び検討をし、その結果を市長に提言をするものと認識している。これまでの委員会では、各所管課の前年度の実績等に対してのみの評価としているように感じられるため、今後の展開に関しても評価するべきではないか。また、調査表1ページ【1-1-1】地域共生課の自己評価欄において、自己評価がCとなっているが、これは主な実績欄にあるアンケートが実施できなかったということか。それに対して、調査表2ページ【1-1-1】社会教育課の自己評価欄がBとなっているのは何故か。また、同ページ【1-1-1】図書館の自己評価欄がCとなっているが、概要欄にはアンケートを実施することでニーズを把握すると定められているのに関わらず、なぜ実施しなかったのか。その他、資料1の文字が小さく、ページ数も多いため読みづらい。

○事務局：

- ・事業評価に関しては、西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱に基づき行っているが、今後はそれと並行して、より良い文化芸術活動のための提言を行う機会を設けながら委員の皆様へ評価していただきたいと考えている。また、令和2年度の実績については、地域共生課はまちづくりフェスに伴いアンケートを実施する予定であったが、イベントの中止によってアンケートも実施出来なかったため、C評価としたと考えられる。

一方で社会教育課は、イベント及びアンケートを実施し、次の事業に生かすことは出来たが、想定していた事業の実施方法を達成できたわけではないため、Bと評価したと考えられる。

図書館に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している事業及びアンケートを行うことが出来なかったため、Cと評価したと考えられる。その他、資料1に関しては今後出来るだけ文字を大きく、読みやすく作成する。

○委員長：

- ・新型コロナウイルス感染症により、各所管課は多大な影響を受けたはずだが、全体的にA評価が多い。これは、例年通りの目標を達成できたという客観的な評価なのか、可能な限りは達成出来たという自己評価なのかを伺いたい。また、調査表の概要にはアンケートを通してニーズを把握するとあるが、アンケートを実施していればAという認識で記載しているのだろうか。アンケートの実施は前提であって、その結果ニーズの把握に繋がったかどうかの評価のポイントなのではないか。

○事務局：

- ・可能な限りは達成出来たという自己評価である。また、アンケートの実施だけでなく、その後の事業へ活かすことが出来たかどうかは評価の基準となっている。

○委員：

- ・「対話による美術鑑賞」事業について、前年度は新型コロナウイルス感染症の影響で小学校では実施することができなかったが、令和3年度は新しいプランに変更して7校実施する予定である。一方で、隔年9校での実施により体験できない児童もおり、全18校で毎年開催することはできないか。また、現在、タブレットが全児童に配布されており、このタブレットを本事業で活用することはできないか。

○事務局：

- ・「対話による美術鑑賞」事業の小学校での実施に関しては、市民ボランティア（アートミー）の活動人数等が不足していることを踏まえ実施校を決定している。現在は、市民ボランティア（アートミー）のメンバーやコーディネーターの育成を行っており、体制を整えば全校実施に向けて検討することができると思われる。また、タブレットの活用に関しては、実現の可能性を今後検討したい。

○委員：

- ・調査1ページ【1-1-1】健康課の記載について、野菜を活用するとの記載があるが、これは新型コロナウイルス感染症に対し免疫力を上げるという意味か。また、西東京市は野菜がモチーフのキャラクターを活用しているが、他課と連携することは出来ないか。

○事務局：

- ・野菜について記載した理由及び他課との連携が可能かに関しては、健康課に確認する。

○委員：

- ・基本方針1は「参加のきっかけづくり」を目的とした取り組みであり、アンケートは単なるきっかけづくりにはなり得ないと考える。ホームページでのアンケート実施などの工夫が必要ではないか。

○事務局：

- ・ホームページなどを使ったアンケート等の取り組みは、関係各課に提案したい。

○委員：

- ・より効果的な方法で市民のニーズに応えていくことが大事ではないか。

○委員：

- ・アンケートの実施にあたっては、特典等を用意することでアンケートの回答率も良くなるのではないか。今後検討していただきたい。

○事務局：

- ・より多くのニーズを把握する案の一つとして、関係各課に提案する。

○委員：

- ・調査表6ページの【1-3-3】保育課の記載について、こもれびホールでの取り組みとは具体的にどのようなものか。また、毎年実施しているのか。

○事務局：

- ・保育課に確認する。

○委員：

- ・実績を見る限り、大変良い取り組みであり、今後も続けてほしい。

○事務局：

- ・小さな頃から文化芸術に触れるべきという意見は、第2期文化芸術振興計画の策定時にも多く寄せられていた。ご意見は、保育課へ伝える。

○委員：

- ・調査表7ページ【1-3-5】教育指導課の主な実績欄にあるように、児童が文化芸術に触れる機会の確保は、前年度においては非常に困難だったと思われる。現場ではどのような取り組みをしていたのか、猪股委員に伺いたい。

○委員：

- ・時間やクラスを分けることで、密にならないようにして実施した。例えば、音楽祭は各学年とし、3日間に分けて実施したり、打楽器はマスクを着用したりするなどの方法を検討し実施した。また、集会で児童が集まると密になるため、放送に代えるなど新しい取り組みを実施している。

3 【議題2】その他

○副委員長：

- ・事務局からの連絡はあるか。

○事務局：

- ・第2回西東京市文化芸術振興推進委員会は10月12日（火曜日）の19時より開催する。

4 閉会

以上